

中央學術研究所紀要

第6号

昭和52年

中央學術研究所

中央學術研究所紀要

— 第六号 —

目次

論 文

仏教における信の意義……………西 義 雄 4

——特に信と悟りとの関係——

現代における宗教対話について……………竹 中 正 夫 27

——ナイロビ会議の動向をめぐって——

立正佼成会の法座……………大 島 宏 之 39

——初期の法座とその実際——

立正佼成会における「ボランティア活動」の現状と課題……………杉 本 貴 代 栄 53

宋儒程伊川学論にみる華嚴哲学の影響と効用……………加 藤 宗 孝 77

——華嚴の法界觀を中心にして——

研究ノート

明治大正期の平和思想寸描……………大 畑 正 一 109

伊豆流罪前後日蓮教学の背景.....村松光一120

——末法思想・中古天台よりの考察——

百里裁判と自衛隊.....玉川恵一128

——自衛隊裁判の変遷——

企業における人間関係のあり方についての一考察.....吉田高聡140

——マグレガー教授の理論を中心として——

原始仏教の経済倫理.....山北雅通153

『国際経済学・その理論と政策』A・モーグナー著.....原書講読研究会訳(1)

書評

E・F・シュマッハー著／斎藤志郎訳『人間復興の経済』.....大野光正167

和田英夫著『憲法と最高裁判所』.....山野井克典170

篠原寿雄著『典座教訓——禅心の生活』.....斉藤和子173

昭和五十一年次研究所事業報告.....178

執筆者紹介.....192